

## ○砂防講演会 「国土のゆとり」講演会

日時：2020年12月4日（金）16：00～17：30

場所：北海道大学農学研究院 総合研究棟多目的室 W109

講師：吉井 厚志

参加者：20名（役所5名、民間10名、大学関係5名ほど）



会場の様子

「国土のゆとり」で伝えたいこと

- 日本と世界の国土と環境について考えよう
- 自然現象を時間的・空間的に把握する
- 自然現象の生活・生産空間への影響を知る
- 被災事例・危険区域などを確認する
- 既知のことと未知のことを明確に区別する
- 空間的な議論→緩衝空間の段階的配置
- 水辺緩衝空間の活用と次世代への伝承
- 全国・世界へ広めていく

北海道支部12月4日出版記念講演会「国土のゆとり」  
◎ 限定公開  
82 回視聴・18 時間前にライブ配信  
6 6 共有 保存 ...  
北海道大学広域複合災害研究センター  
チャンネル登録者数 7人  
みずみどり空間研究所主宰 吉井厚志様 ご講演

You Tube 配信

砂防学会北海道支部が主催した砂防講演会が北大の多目的室で「十分な距離をとって」開催されました。教室は、換気のため窓とドアがあいており、参加者は上着を着たまま講演を聞き質疑応答を行いました。同時に YOU Tube での配信も行われ、多様な手法で発信されました。

お話の導入は、書籍である「国土のゆとり」を書くにあたっての経緯や、執筆活動中にも次々に起こる災害についても情報を収集し、組み込んでいった過程のお話で、その勤勉さは流石だと思いました。そのため内容は多岐に渡り、質疑応答も「海岸事業のその後」や「豊平川土石流対策」「有珠山噴火の防災事業の今後」等など、各位が興味ある視点について質疑と意見交換が行われました。

印象に残ったのは「今後どうすべき！という部分が弱い、と指摘されました」と筆者の吉井さんが反省しつつ悩んでいる姿で、最前線に立っている自分達の責任の重さを感じました。

「今後の砂防を担う若者に伝えたいことは？」との問いでは、前述のページの「日本と世界の国土と環境について考えよう！という点です」と改めて説明を受け『考える』という事は、最も重要な事なのだと感じました。

就職説明会に参加していた学生さんも残ってくれて、若手からロートルまで多方面の現場について語り合い、久しぶりに顔が見られて、楽しいひと時できた。(このまま忘年会のつもりで日程を設定したため、直後に解散になってしまったのは残念です。きっと春に！コロナ対策 頑張りましょう)

明治コンサルタント株式会社 井上涼子